

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本ビラー工業株式会社福知山第2工場	階数	地上4F
建設地	京都府福知山市	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	300人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2022年6月20日
敷地面積	72,971 m ²	作成者	北沢汐瀬
建築面積	9,386 m ²	確認日	
延床面積	18,457 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 3.2</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値: 100%</p> <p>②建築物の取組み: 92%</p> <p>③上記+②以外の: 61%</p> <p>④上記+: 61%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.7

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 3.8	Q2のスコア = 3.8	Q3のスコア = 3.5
音環境: 3.3, 温熱環境: 3.6, 光・視環境: 3.8, 空気質環境: 4.4	機能性: 4.1, 耐用性: 3.2, 対応性: 4.1	生物環境: 3.0, まちなみ: 4.0, 地域性: 3.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 4.1

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 4.7	LR2のスコア = 3.7	LR3のスコア = 3.8
建物外皮の: 4.7, 自然エネ: 4.7, 設備システ: 4.7, 効率的: 3.8	水資源: 3.7, 非再生材料の: 3.7, 汚染物質: 3.7	地球温暖化: 4.7, 地域環境: 3.8, 周辺環境: 3.8

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今計画は京都府福知山市に建設される工場(事務所エリアを含む)の計画である。周辺環境に配慮し、周囲の緑地と連続するように積極的に緑化を行ったアプローチ・ファサードとしている。 ・閉塞的になりがちなクリーンルームに対して、外部を感じる事ができる抜けを設け、快適な執務空間を計画している。 		
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り大きな開口部を設け積極的に日光率利用を行う。 ・人感照明・タスクアンビエント照明を用いている。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な階高、執務空間を確保し、空間の対応性・更新世に配慮している。 ・耐用年数の長い建材を使用し長寿命化に配慮する。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地の外周部は緑地を行い、周辺の既存緑地と一体となり、生物環境の創出・保全に配慮する。 ・建築設備に伴う排熱を高所で行う等、温熱環境の向上に配慮している。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明の採用により、エネルギー使用量削減に配慮する。 ・太陽光発電により、創エネルギーに配慮する。 ・断熱性能の高い建材を使用し、建物外皮の熱負荷制御に配慮している。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水機器を採用している。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の外部照明やサイン照明について周辺に影響がないうよう、光害対策ガイドラインに沿った対策を実施している。 ・燃焼設備を利用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される